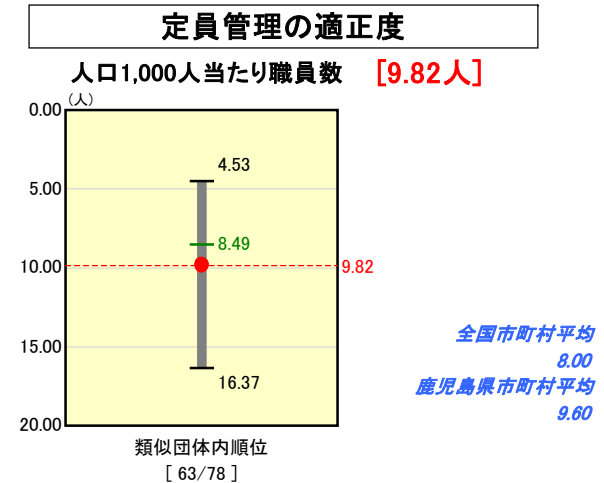
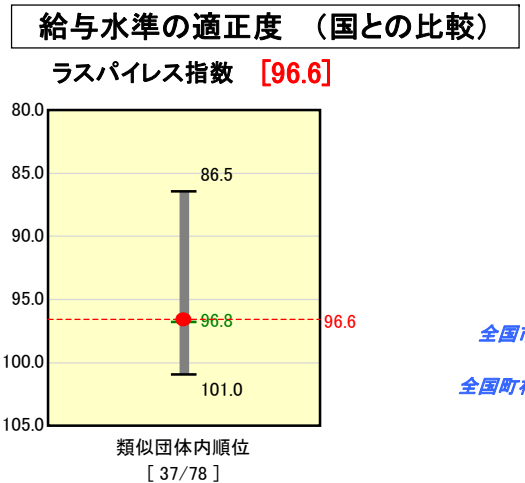
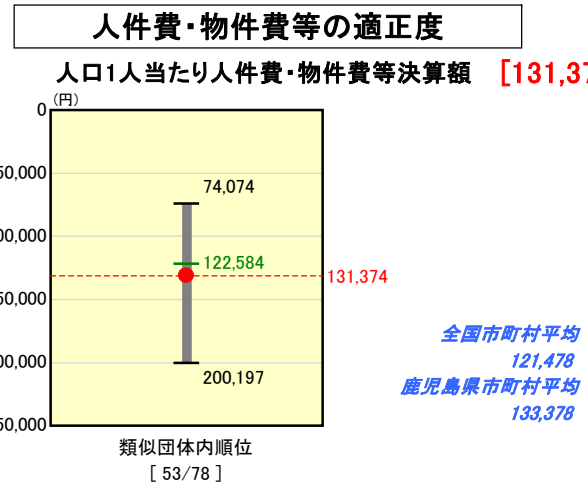
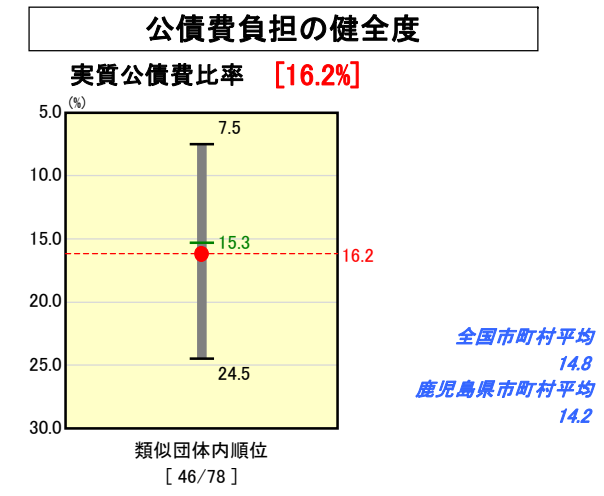
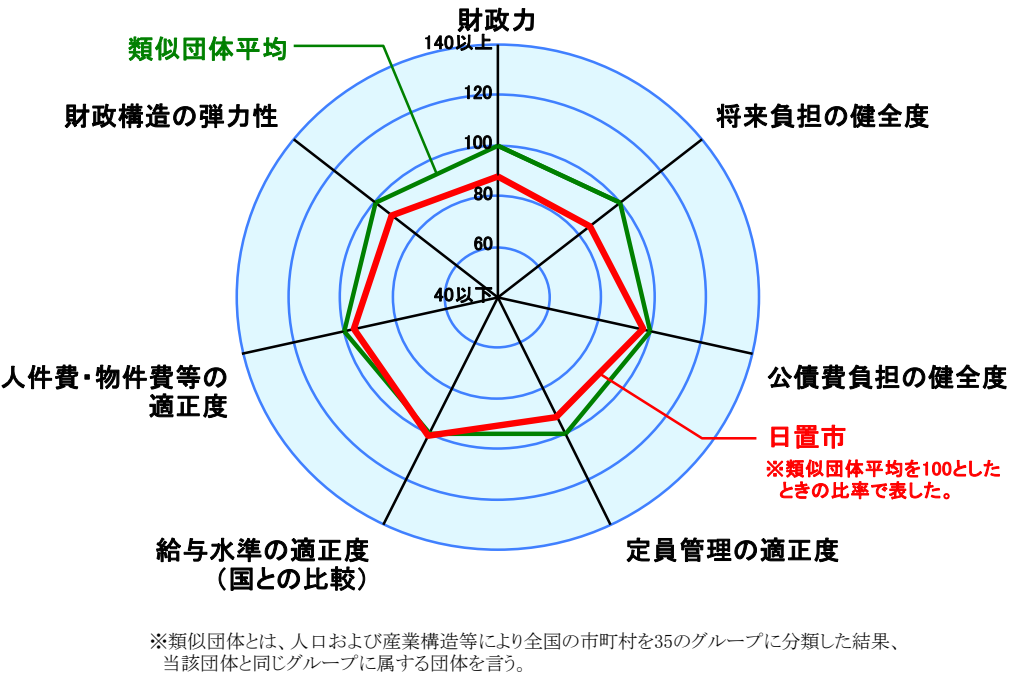
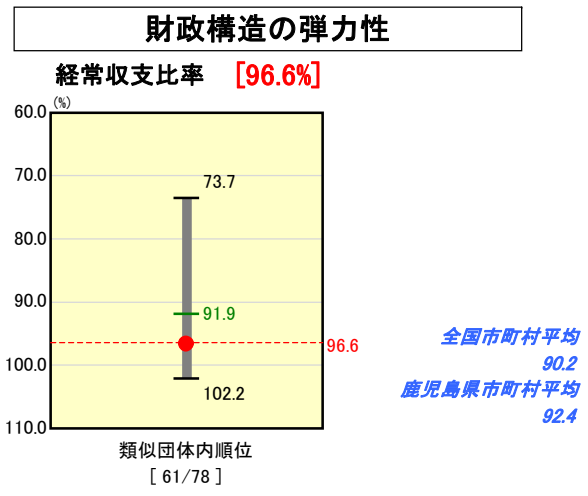
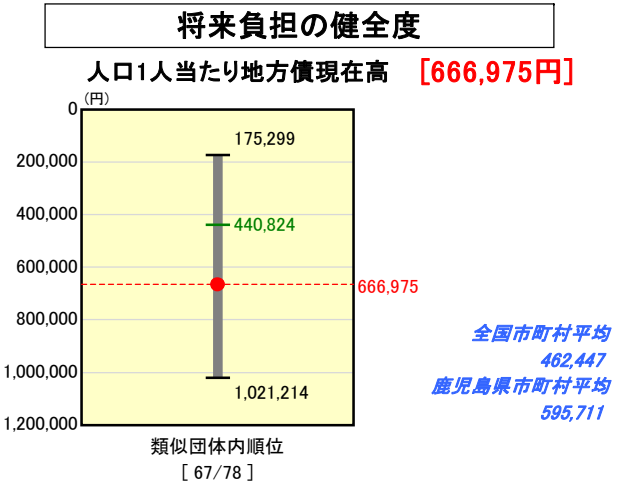
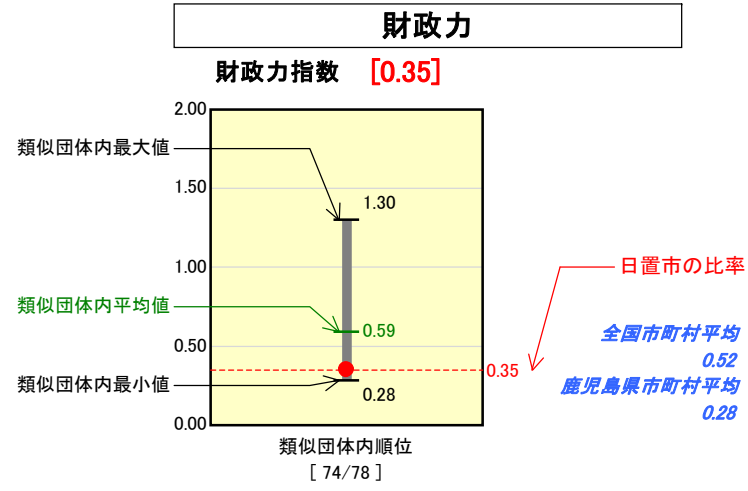


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

鹿児島県 日置市

| | | |
|------|------------------------|--------------|
| 人口 | 52,668 人 | (H18.3.31現在) |
| 面積 | 253.05 km ² | |
| 歳入総額 | 25,927,542 千円 | |
| 歳出総額 | 24,046,943 千円 | |
| 実質収支 | 1,520,928 千円 | |



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：平成17年5月の合併により財政基盤の強化が図られたところであるが、類似団体平均を大幅に下回っており、今後も定員管理・給与の適正化(5年間で80人削減)等の取り組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率：定員管理の適正化(5年間で80人削減)による人件費の削減等の取り組みを通じて、義務的経費の縮減を図るとともに、市税の徴収率の高位維持(対前年度比0.1%増)等により財源を確保し、経常収支比率の改善に努める。

ラスパイレズ指数：給料表の切替え、退職者の不補充、昇格の抑制等により人件費の縮減を図ることで、類似団体平均を若干下回っている。今後とも、ラスパイレズ指数の変動要因に注視しつつ、より一層の給与の適正化に努める。

実質公債費比率：類似団体平均を若干上回っており、新規起債事業の峻別や新規発行額の抑制により財政の健全化に努める。

人口1人当たり地方債：市町村合併に伴い解散した一部事務組合の債務を承継したことと、合併前から実施している大型の継続事業の借入れに伴い、類似団体平均を上回っている。今後は、新規起債事業の峻別や新規発行額の抑制により財政の健全化に努める。

人口1,000人当たり：市町村合併に伴う一部事務組合の再編により、消防業務とゴミ処理業務が直轄事業となったことで職員数が増加(67人)し、類似団体平均を上回っている。今後は定員管理の適正化の取り組みにより5年間で80人削減する。

人口1人当たり人件費等：市町村合併に伴う一部事務組合の再編により、消防業務とゴミ処理業務が直轄事業となったことで職員数が増加(67人)したことに伴い、人件費等が増加し類似団体平均を若干上回っている。今後は定員管理の適正化の取り組み(5年間で80人削減)等を通じて、経費の削減を図る。